

東京都立東大和南高等学校 令和6年度 教科
国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組：本木) (2組：田村) (3組：本木) (4組：田村) (5組：本木) (6組：田村) (7組：本木)

使用教科書： (探求 現代の国語 (桐原書店))

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目	現代の国語	の目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：〈知〉のコミュニティへ、体験と思索Ⅰ ・随想の基本的な読み方を習得する。 ・二項対立的な内容を把握しながら、全体の構成を的確に捉える。 ・具体例が示しているものを丁寧に読み取り、筆者の主張を理解する。 ・文章の内容や主張について、自分との関わりの中で考察し、考えをまとめる。	教材：「読書は必要か？」等 指導項目・内容： 「話す・聞く」 話題の設定、構成の工夫、表現の工夫、評価と考察 「書く」 題材の設定、構成の工夫、表現の工夫 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・筆者ならではの特徴的な語彙や文章表現を探し、その効果を理解している。 ・「ところが」「しかし」など、逆接の接続語の働きを正確に理解している。 ・文章の記述と資料との対応関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・筆者の考えに対して自分なりの考えを持ち、話し合いができる。 ・筆者の捉え方に対する自分の考えをまとめ、それを支える適切な話題を設定し、表現に工夫を凝らしながら文章にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・筆者の考えに、自らの経験を照らし合わせて自分なりの言語観を持ち、深めている。 ・教材に関連する本や資料を読むなどして、考察を深めている。	○	○	○	6
	単元：評論解析A ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 ・本文中の対比関係を注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 ・具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。 ・論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。	教材：「環境世界」「紫外線」 指導項目・内容： 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・文末の強い言い切りや読み手に訴える言い回しなどに注目して、主要な見解をつかむ方法を理解している。 ・対照的な事柄を挙げ、比較する形式を取ることで、伝えたい事柄が効果的に説明されることを理解している。 ・具体例の内容を的確に捉えることは、筆者の抽象的な見解を把握する大きな助けとなることを理解している。 ・筆者の見解とその根拠を押さえ、「～は（話題）、～だから（根拠）、～である（見解）。」の形で主張を整理できることを理解している。 【思考・判断・表現】 「環境」と「環境世界」、「コトワケ」と「ミワケ」がそれぞれ対比されていることに気づき、両者の違いを説明できる。 ・紫外線について述べた具体例に当たる部分の内容をまとめ、それがどのようなことを説明するために出された例かを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文を論旨に沿って自分の言葉で説明し直し、内容への認識を深めている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元：評論Ⅰ ・評論の基本的な読み方を習得する。 ・具体例を丁寧に読み取りながら論理の展開を把握し、筆者の主張を的確に捉える。 ・ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 ・本文の読み取りをもとに、自分にとっての「ささやかだが心に染みた言葉」について、文章にまとめる。	教材：「言葉の力」 指導項目・内容： 「書く」 題材の設定、構成の工夫、表現の工夫 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・「出来合いの大きな表現と正反対の方向」「問題は紛糾してはいない。展望が紛糾しているだけだ」「言葉は氷山の一角」などの特徴的な表現を正確に理解している。 ・「そういうこと」「こういうこと」などの指示表現が指す事柄を正確に理解している。 ・具体的なエピソードと筆者の主張との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・筆者の考えをまとめ、主題を理解している。 ・本文の読み取りをもとに、自分にとっての「ささやかだが心に染みた言葉」について、構成や表現を工夫しながら400字程度の文章にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大岡信「言葉の力」で述べられた「言葉の変貌」について、どのように「言葉の力」が生み出されているか説明できる。	○	○	○	6

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元：評論Ⅰ ・ふだん何気なく使っている言葉の働きにあらためて目を向け、自らの言語生活を見つめ直す。 ・本文の読み取りをもとに、自分にとっての「ささやかだが心に染みた言葉」について、文章にまとめる。 ・詩作品の表現形式の特徴と、その効果を理解する。 ・大岡信「言葉の力」で述べられた「言葉の変貌」について、その「変貌」の様子を詩作品中に見いだすことを通じて考察を深める。	教材：「二十億光年の孤独」 指導項目・内容： 「話す・聞く」 表現の工夫、評価と考察 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・詩作品の音韻上・表現上の効果を理解している。 【思考・判断・表現】 ・筆者の考えをまとめ、主題を理解している。 ・本文の読み取りをもとに、自分なりの解釈や考察を他者に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大岡信「言葉の力」で述べられた「言葉の変貌」について、その「変貌」の様子を詩作品中に見だし、そこからどのように「言葉の力」が生み出されているか説明することができる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元：実社会Ⅰ ・説明的な文章の基本的な読み方を習得する。 ・研究活動において「問いを立てる」ことの重要性や、「問いを立てる」際の条件を理解する。 ・立てた問いが「オリジナル」であるとはどういうことか、理解する。 ・実際に問いを立て、その問いについて検討することを通じて、高等学校での探究活動にも通用する研究への態度を養う。	教材：「問いの立て方とオリジナリティ」 指導項目・内容： 「話す・聞く」 話題の設定、評価と考察	【知識・技能】 「一次情報」「二次情報」の定義を理解し、自ら情報を分類できる。 【思考・判断・表現】 ・研究活動において「問いを立てる」ことの重要性と、「問いを立てる」際の二つの条件を理解している。 ・「オリジナル」な問いにおける、「オリジナリティ」とはどのようなものか、理解している。 ・筆者が学生のレポートに求めていることを、情報の扱い方の観点から読み取っている。 ・自ら問いを立て、その問いについて、本文で示された条件に照らして適当なものであるか、話し合いを通じて検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「一次情報」「二次情報」の具体例を実際の経験の中に求め、発表している。 ・「問いの立て方」や問いの「オリジナリティ」についての考えを自分なりに深め、探究活動などにおいても生かそうとしている。	○	○	○	6
	単元：実社会Ⅱ ・説明的な文章の読み方を習得する。 ・インタビューによる取材内容と筆者の考察とのつながりを理解する。 ・視覚障害者の晴眼者とは異なる空間認識のしかたを知ること、世界の捉え方を相対化する。 ・実際に視覚障害者にとっての世界のあり方を追体験し、その中で気づいたことを伝え合う。	教材：「目の見えない人は世界をどう見ているのか」 「話す・聞く」 表現の工夫、評価と考察	【知識・技能】 ・「」の使用によって、その単語に特別な意味を付与できることを理解している。 ・本文をインタビューによる取材内容と、筆者の考察とに分類できる。 【思考・判断・表現】 ・視覚障害者である「木下さん」の「大岡山」の捉え方を、晴眼者である筆者のそれとの比較しながらまとめることができる。 ・「『道』から自由」とはどのようなことを指した表現か、理解している。 ・「見える人」と「見えない人」の「ダンス」の違いについて、中途失明者である「難波さん」の体験談を通じて理解している。 ・「見えない人」の空間や物事の捉え方の特徴を、「見える人」のそれとの比較から理解している。 ・実際に視覚障害者にとっての世界のあり方を追体験し、目が見えているときとの情報の入手のしかたの違いについて気づいたことを、相手に伝わる表現を工夫しながら話し合い、互いに確認し合うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・実社会における視覚障害者への配慮の例や問題点を調べるなどして、教材の内容への関心を高めている。 ・視覚中心となっている空間認識のあり方を相対化して捉える経験を、世界や物事全般を捉える際の姿勢としても生かそうとしている。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査			○	○		1
	単元：評論Ⅲ ・論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 ・「未来世代」と「現在世代」との利害対立という観点から、環境問題に対して認識を深める。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、環境問題の現状や展望について考察し、意見を述べ合う。	教材：「経済の論理／環境の倫理」 指導項目・内容： 「話す・聞く」 話題の設定、構成の工夫、表現の工夫、評価と考察	【知識・技能】 ・「言い換えれば」「しかし」など、接続語の働きを正確に理解している。 ・「倫理」「信任」など、キーワードの意味を正確に理解している。 【思考・判断・表現】 ・「倫理」を意識しながら、全体の構成を的確に把握している。 ・経済学の基本的な考え方、環境問題に対する一般常識と経済学との考え方の違いを理解している。 ・未来世代と現在世代の対立という観点から、地球温暖化問題が経済学の論理では解決できないことを理解している。 ・「信任」関係について把握したうえで、現在世代に倫理的な行動が要請されることを理解している。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、資料を効果的に用いながら討論している。 ・討論を通じて一定の成果が得られるよう、進行のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・環境問題の原因と解決策を考えることで、教材の内容への関心を高めている。 ・本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べ、自ら問題点を見つけ、その解決策を考えている。	○	○	○	6

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	単元：評論解析B ・接続表現に着目し、話題、論旨の展開を把握する。 ・話題、論旨の展開を把握し、筆者の主要な見解をつかむ。 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 ・具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。 ・論理構造を読み解き、話題に対する筆者の見解やその根拠をつかむ。	教材：「グローバル化と「文脈」」「ゆらぎ」 指導項目・内容： 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・接続表現に着目し、話題、論旨の展開を把握する方法を理解している。 ・対照的な事柄を挙げ、比較する形式を取ることで、伝えたい事柄が効果的に説明されることを理解している。 ・具体例の内容を的確に捉えることは、筆者の抽象的な見解を把握する大きな助けとなることを理解している。 ・筆者の見解とその根拠を押さえ、「～は（話題）、～だから（根拠）、～である（見解）。」の形で主張を整理できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・グローバル化する社会で必要とされる「特定の文脈を超えてゆく力」がどのような力であるかを説明できる。 ・今日の時代の特徴と課題についての筆者の見解を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張に対して、自分なりの解釈や考察をもっている。 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文を論旨に沿って自分の言葉で説明し直し、内容への認識を深めている。	○	○	○	5
	定期考査						1
	単元：評論Ⅱ ・評論の読み方を習得する。 ・具体例に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 ・「読む」という話題を通して、読む行為のあり方について自分の考えを深める。 ・本文を基にして、創造的な読みを実践する。	教材：「読む」 指導項目・内容： 「書く」 題材の設定、構成の工夫、表現の工夫 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・具体例の働きに注意して、主張されている内容を正確に理解している。 【思考・判断・表現】 ・筆者が考える「読む」行為の意味を捉えている。 ・高度な読みの多様性とおもしろさを、「解釈」という観点において理解している。 ・本文の内容を参考に「読み」についてを自分なりに考え、構成や表現を工夫しながら600字程度の文章にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文を踏まえて、創造的な読みを実践しようとしている。	○	○	○	4
	単元：評論Ⅱ ・小説の読み方を習得する。 ・登場人物の行動や考え方を的確に捉える。 ・「くま」の心情の変化を表現に即して理解する。 ・作品の主題を捉える。	教材：「神様」 指導項目・内容： 「話す・聞く」 話題の設定、構成の工夫、表現の工夫、評価と考察 「読む」 要旨の把握、解釈と考察	【知識・技能】 ・登場人物の言動に着目して、心情を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 ・作品の主題を捉えている。 ・高度な読みの多様性とおもしろさを、「解釈」という観点において理解している。 ・本文の内容をもとに、自分なりの解釈や考察を他者に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・本文を踏まえて、創造的な読みを実践しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							54